

春の火災予防運動 (3月1日～7日)

消さないで あなたの心の 注意の火

(全国统一防火標語)

3月1日から7日まで「春の火災予防運動」が実施されます。
冬から春へ季節が移り変わるこの時期は、空気が非常に乾燥して火災が発生しやすく、また強い季節風により大火になりやすい時期でもあります。
一瞬にして財産だけでなく、生命までも奪ってしまう火災。火災を出さないためには、何よりも日頃からの心掛けが重要です。この機会に、ともすれば忘れがちな火災に対する警戒心を喚起し、自宅や職場等の身の回りをもう一度見直し火災予防に心掛けましょう。

えっ？こんな事からも出火か？

火災は、思わぬ状況で発生することがあります。

次の火災事例を参考に、皆さんも火の取扱いには充分注意しましょう。

事例ファイル1

○ 取れん火災

台所出窓に、ステンレス製の容器の中に木製一升マスを入れて置いていたところ火災となりました。

これは取れん火災といって、凸レンズ状の透明な物体あるいは、凹面鏡状の反射物により一点に集中した太陽光が可燃物を発火させ起こる火災で、夕方や冬に比較的多く発生すると言われています。

レンズや凹面鏡と同じ状況となる可能性のある物体は直射日光の当たらない場所におきましょう。

事例ファイル2

○ 低温着火

ガスコンロと壁の距離が近い状態で、長い年月使用を続けると、壁内の木材が乾燥状態になり小さな穴が多数できます。そこに酸素が入り込み、酸化熱が蓄熱されて炭化状態になります。木材の着火温度は一般的に400～500度ですが、炭化状態の木材では低い温度(100度)でも着火することがあります。これを低温着火といえます。

予防策は、ガスコンロと壁の間を15cm以上開けるか、防熱板等を取り付けて使用しましょう。

3つの習慣

ガスコンロなどのそばを離れる時は必ず火を消す



ストーブは燃えやすいものから離す



寝煙草は絶対やめる



あなたの生命と財産を守るために



住宅火災を防止するために
次の7つの事を守りましょう。

火災予防期間中の消防本部の行事

3月2日(金) 自衛消防隊指導者研修会

市内事業所で、屋内消火栓設備やスプリンクラー設備が設置されている事業所を対象に、防火管理に関する講話及び消防用設備等の取扱訓練を実施します。

3月6日(火) 危険物実務講習会

危険物施設設置事業所を対象に法令改正等の研修会を実施します。工場や事務所用途の事業所を中心に立入検査を実施し、女性防火クラブによる火災予防広報を行います。

消火器の設置



隣近所の協力体制の確立



住宅用火災警報器の設置



4つの対策

防災製品の使用



平成18年 常陸大宮市の火災・救急・救助の概要

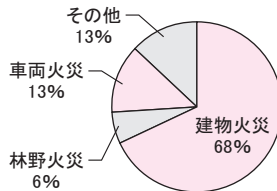
平成18年中に、市内で発生した火災や救急及び救助の概要をお知らせします。

火災

出火件数は、昨年の22件より6件(27・3%)減少しました。火災種別ごとに見ると、建物火災が11件と最も多くなっています。

●火災発生状況

区分	H18年	前年比
火災件数	建物火災	11件 ▲6件
	林野火災	1件 0件
	車両火災	2件 1件
	その他	2件 ▲1件
	合計	16件 ▲6件
損害額	93,035千円	45,115千円
焼損面積	962㎡	▲331㎡
死者	死者	1人 0人
	負傷者	4人 3人
り災人員	世帯	8世帯 ▲5世帯
	人員	16人 16人



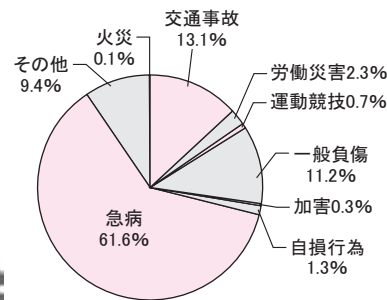
救急

救急出動件数は、前年に比べ24件(1・5%)減少し、搬送人員も1,527人で前年に比べて33人(2・1%)減少しました。

●救急出動状況

区分	H18年	前年比
出動件数	1,567人	▲24人
搬送人員	1,527人	▲33人
火災	1件	0件
自然災害	0件	0件
水難事故	0件	▲4件
交通事故	205件	28件
労働災害	36件	▲7件
運動競技	11件	▲6件
一般負傷	176件	▲41件
加害	4件	▲6件
自損行為	20件	6件
急病	966件	▲19件
その他	148件	251件

●救急件数構成比



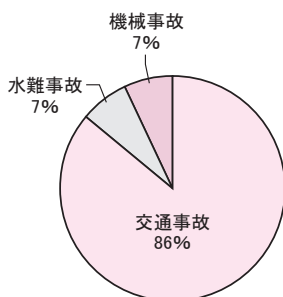
救助

救助活動状況を見ると、救助出動件数は前年と比較して5件減少しました。

●救助出動件数

区分	H18年	前年比
出動件数	15件	▲5件
火災	0件	0件
交通事故	13件	1件
水難事故	1件	▲3件
自然災害	0件	0件
機械事故	1件	0件
建物事故	0件	0件
ガス酸欠事故	0件	▲1件
爆発事故	0件	0件
その他事故	0件	▲2件

●救助件数構成比



住宅用火災警報器を設置しましたか?

平成16年6月に消防法が改正され、全国一律に平成18年6月1日から、すべての新築住宅に対して「住宅用火災警報器」の設置が義務付けられました。市の条例では、既存住宅への適用時期を平成20年6月1日としています。早くに設置しましょう。

救急車の適正利用とご協力を!

市消防本部では、現在3台の救急車が市民の安心・安全を守るため24時間出動態勢をとっています。しかし、最近軽いケガや緊急性のないものによる安易な119番通報による出動が増えていきます。そのため、命の危険がある重症患者などへの救急出動が遅れることが心配されます。救急車は本来、命にかかわるような病気やケガ人を一刻も早く病院に搬送する必要がある場合に利用するものです。緊急性のない病気やケガは、自家用車かタクシーの利用をお願いします。



今月の表紙

自覚新たに。消防出初式

常陸大宮市誕生後、3度目の消防出初め式が1月7日、辰ノ口の消防広場で実施されました。

市内の消防団員、消防署員が一堂に集い、多数の来賓が見守る中、分列行進等を実施し、年頭に当たり、防火・防災に対する職責の自覚を新たにしました。